東郷町立兵庫小学校で防災講座を行いました

令和８年１１月１１日（水）、東郷町立兵庫小学校で４年生７６名に防災講座を行いました。学校の近くには境川が流れています。

講座では、東郷町でも被害のあった伊勢湾台風や東海豪雨などの過去の水害、令和８年９月名古屋市の豪雨などについて学習しました。また、学校付近は丘陵地でハザードマップでも浸水が想定されていませんが、同じ丘陵地である名古屋市名東区の東部丘陵地帯で道路に溢れた水が坂道を流れ、鉄砲水となり被害が発生した昭和５８年の９.２８豪雨災害を挙げ、必ずしも安全ではないことを学びました。

伊勢湾台風ＡＩ語り部との対話体験では、「避難所での生活の様子は」「経験して忘れてはいけないと思ったことは」「大人のどれくらいまで水が来たのか」などと質問をし、伊勢湾台風や避難所生活への理解を深めていました。

講座の最後に代表児童から、「過去の水害を知ったので水害の怖さ」「大雨の時もまだ大丈夫だと決して油断しないこと」「どのタイミングで避難したら良いのか」などを家族に伝えたいと発表がありました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。





